

第一生命経済研究所 経済調査部
 担当 鷹峰 義清 (03-5221-4521)

【債券市場】

		前月の動き					過去の動き				
		月末値	月中高値	月中安値	前月末値	月間騰落率	月間騰落率				
							6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前
日本	TIBOR3M	0.442	0.442	0.350	0.347	+9.5bp	+0.7bp	+1.6bp	+1.5bp	+12.6bp	+7.7bp
	2年債	0.834	0.909	0.749	0.850	▲1.6bp	+17.6bp	+21.5bp	▲1.5bp	+16.5bp	+1.0bp
	10年債	1.915	1.985	1.785	1.920	▲0.5bp	+2.5bp	+18.5bp	+15.0bp	▲9.0bp	+9.0bp
米国	LIBOR3M	5.466	5.520	5.466	5.481	▲1.5bp	+14.2bp	+17.8bp	+13.0bp	+10.8bp	+24.3bp
	2年債	4.950	5.234	4.950	5.150	▲20.0bp	+15.9bp	+14.1bp	+4.2bp	+17.5bp	+11.7bp
	10年債	4.979	5.239	4.977	5.136	▲15.7bp	+3.6bp	+29.6bp	+20.3bp	+6.9bp	+1.7bp
欧州	LIBOR3M	3.163	3.163	3.055	3.058	+10.5bp	+11.4bp	+15.3bp	+3.5bp	+7.6bp	+13.0bp
	独2年債	3.512	3.631	3.512	3.574	▲6.2bp	+6.6bp	+26.9bp	+8.9bp	▲2.4bp	+21.9bp
	独10年債	3.921	4.137	3.920	4.071	▲15.0bp	+2.2bp	+28.2bp	+18.0bp	+3.1bp	+8.9bp



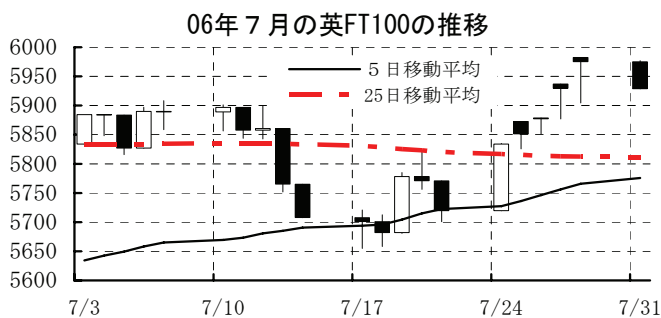
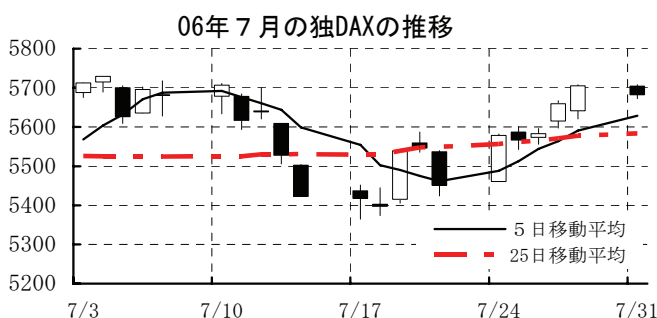
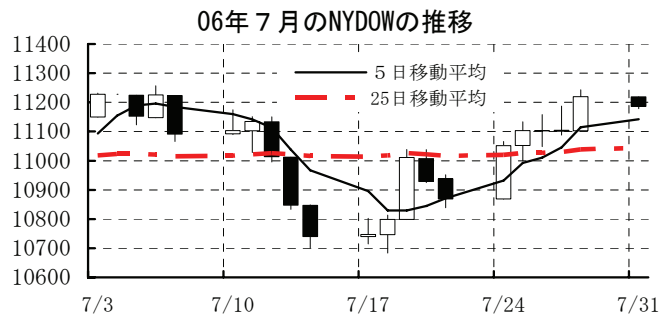
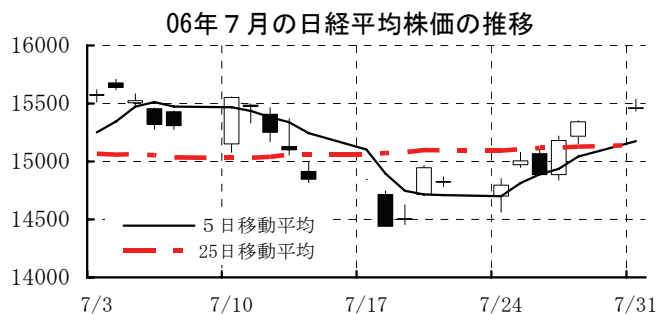
06年7月末の日本の10年債利回りは1.915%と、前月末対比▲0.5bp低下した。月前半は、7月14日の日銀金融政策決定会合において、ゼロ金利政策の解除が行われるか否か、あるいは行われた場合にどのような声明文や福井日銀総裁の記者会見内容になるかが材料となり、金利は1.9%台で高止まりが続いた。結局、大方の市場予想通り+25bpの利上げが実施され、ゼロ金利政策は解除されたが、福井総裁の会見内容から追加利上げはかなりゆっくりとしたものになるとの見方が台頭、金利は一旦低下した。月末にかけては、株価の上昇とともに再び金利は上昇、月を通せばほぼ“行って来い”の形となった

欧米では長期ゾーン中心に金利は低下。米国では、注目されたバーナンキFRB議長の議会証言（7/19・20）で、これまで通りほぼバランスの取れた内容だったものの、市場はFRBが景気の減速を予想していることに注目、8月FOMCにおける追加利上げ観測が薄らいだ。その後も、景気減速を示唆する経済指標が目立つなか金利は緩やかに低下基調を辿り、4～6月期の実質GDP成長率が市場予想を下回ったことが明らかになると、10年債利回りは5%を割り込んだ。欧州では、ECBが7/6の理事会で利上げを見送ったものの、次回理事会（8/3）での利上げを事実上示唆したことから、短期金利は上昇した。一方、長期ゾーンは米金利に引きずられる格好で、低下基調を辿っている。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

【株式市場】

		前月の動き					過去の動き					
		月末値	月中高値	月中安値	前月末値	月間騰落率	月間騰落率					
		6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前						
株式	日本	日経平均	15,456.81	15,710.39	14,437.24	15,505.18	▲0.3%	▲2.7%	+5.3%	▲0.9%	▲8.5%	+0.2%
		TOPIX	1,572.01	1,606.86	1,473.59	1,586.96	▲0.9%	▲2.9%	+4.1%	▲0.7%	▲8.0%	+0.4%
	米国	NYDOW	11,185.68	11,257.08	10,683.32	11,150.22	+0.3%	+1.2%	+1.1%	+2.3%	▲1.7%	▲0.2%
		SP500	1,276.66	1,280.42	1,224.54	1,270.20	+0.5%	+0.0%	+1.1%	+1.2%	▲3.1%	+0.0%
		NASDAQ	2,091.47	2,190.44	2,012.78	2,172.09	▲3.7%	▲1.1%	+2.6%	▲0.7%	▲6.2%	▲0.3%
	英国	FT100	5,928.3	5,982.5	5,654.6	5,833.4	+1.6%	+0.5%	+3.0%	+1.0%	▲5.0%	+1.9%
ドイツ	DAX	5,681.97	5,729.59	5,365.06	5,683.31	▲0.0%	+2.1%	+3.0%	+0.7%	▲5.3%	▲0.2%	

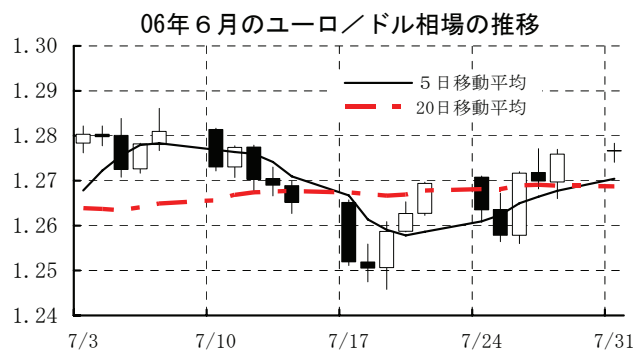
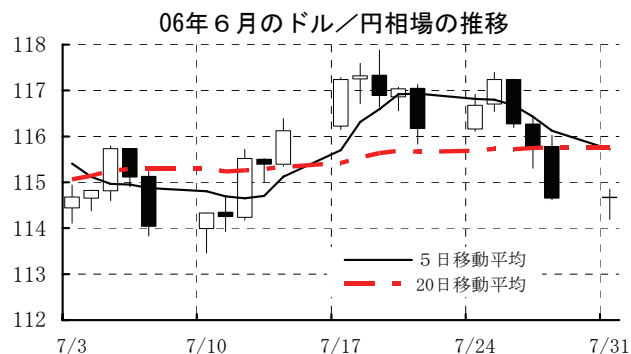


06年7月末の日経平均株価は15,456.81円と、前月末比▲0.3%と小幅ながら前月水準を下回った。月前半は日銀のゼロ金利解除を前に、今後の金融政策の動向を警戒する姿勢が続いたことに加え、中東情勢の緊迫化とそれに伴う原油価格の上昇、4～6月期決算発表を控えての神経質な動きから、軟調な展開が続いた。一方、月後半は世界的な金利の低下基調、4～6月期決算内容が良好だったことなどをを受けて、株価は戻り歩調を辿り、月を越せばほぼ“行って来い”となった。

欧米市場でも、月半ばにかけて株価は軟調な展開となったものの、その後は切り返す格好となった。FRBのバーナンキ議長による議会証言や、4～6月期の決算発表を前に、警戒的な動きが広がった月半ばと、こうした警戒感が薄らいだ月後半とで流れが大きく変わった。

【為替市場】

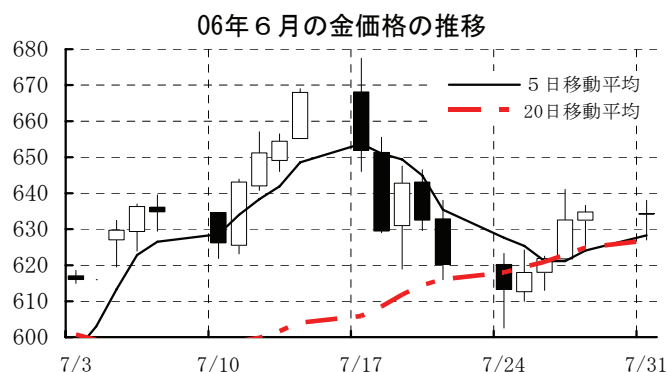
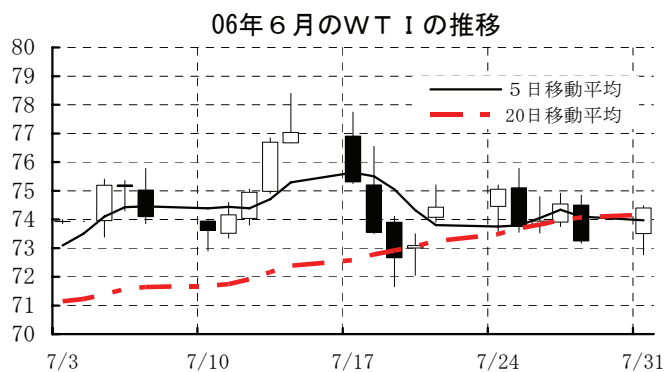
		前月の動き					過去の動き				
		月末値	月中高値	月中安値	前月末値	月間騰落率	月間騰落率				
							6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前
為替	USD/JPY	114.67	117.88	113.46	114.42	▲0.2%	+1.2%	▲1.7%	+3.4%	+1.0%	▲1.6%
	EUR/USD	1.2767	1.2861	1.2458	1.2790	▲0.2%	▲1.9%	+1.7%	+4.3%	+1.4%	▲0.1%
	EUR/JPY	146.39	148.06	145.02	146.37	▲0.0%	▲0.1%	▲0.4%	▲2.7%	▲1.6%	▲1.8%



7月末のドル/円レートは1ドル=114.67円と、前月末比25銭の円安ドル高となった。また、ユーロ/円レートは1ユーロ=146.39円と、同2銭の円安ユーロ高。ゼロ金利解除後の福井総裁の記者会見から、年内の追加利上げの可能性は低くなったとして、ドル/円相場は一時117.88円まで円安が進んだ。その後は、バーナンキFRB議長の議会証言が予想よりもハト派と評価された上、景気減速を示唆する指標の発表が目立ったことから、米国でも追加利上げ観測が後退、つれてドル安が進んだ。

【商品市場】

商品			前月の動き					過去の動き				
			月末値	月中高値	月中安値	前月末値	月間騰落率	月間騰落率				
								6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前
原油	WTI (期近)	74.40	78.40	71.65	73.93	+0.6%	▲9.6%	+8.5%	+5.8%	+1.1%	+3.7%	
金	CMX (期近)	634.2	677.5	602.5	616.0	+3.0%	▲1.2%	+3.2%	+12.5%	▲1.8%	▲4.1%	



7月末のWTI (期近物) は1バレル=74.40ドルと、前月末比+0.6%上昇。需要期入りを目前に控え、北米のガソリン需給が目立って緩和しないことに加え、イスラエルのレバノン侵攻など地政学的リスクの高まりが原油価格の押し上げに繋がった。